



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(3月13日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が16日に発表した建玉報告によると、13日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、7万9539枚となり、前週比7306枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを減らし、売りポジションをより多く減らしていた。

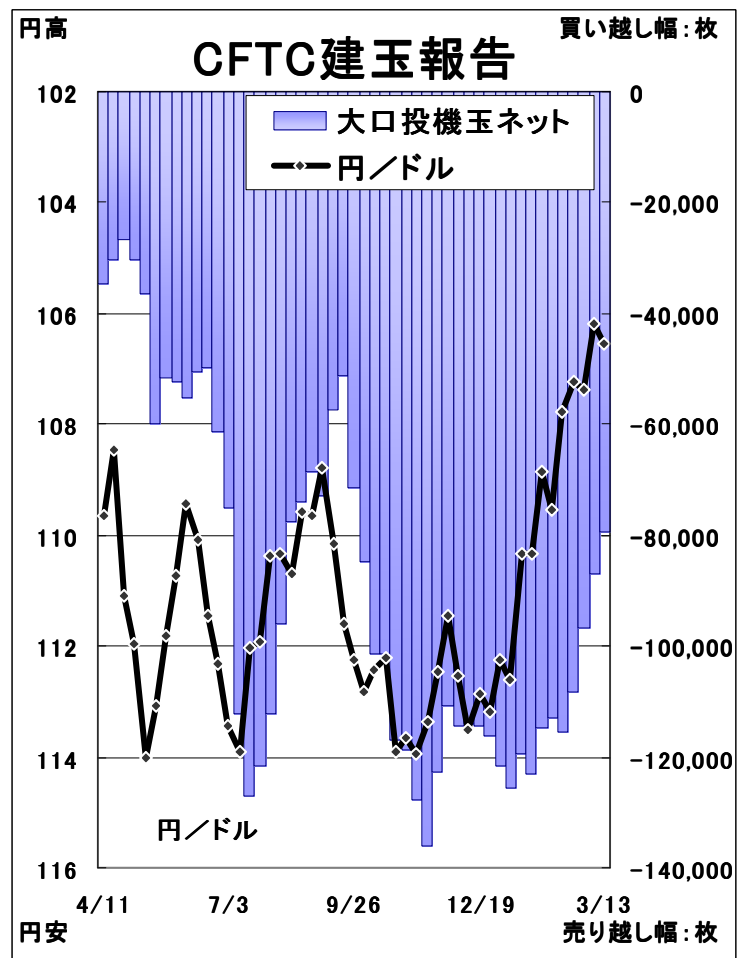
期間中の円(対ドル)は下落。トランプ大統領が8日、鉄鋼とアルミニウムの輸入制限措置の発動を正式に決定。ただ、北米自由貿易協定(NAFTA)をめぐる再交渉中のカナダとメキシコは一時的に適用を除外するなど、想定よりも穏健な内容だったことから、リスク回避の円買い圧力が低下した。

また、米労働省が9日発表した2月の雇用統計によると、景気動向を反映する非農業部門の就業者数は、季節調整済みで前月比31万3000人の増加となり、2016年7月(32万5000人増)以来1年7カ月ぶりの高水準となった。市場予想の20万人増を大幅に上回り、景気の堅調さを示す内容となったことで、米連邦準備制度理事会(FRB)が今月20、21両日の米連邦公開市場委員会(FOMC)での追加利上げに踏み切るとの見方が強まったことも、ドル買い要因となった。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は14万6380枚となり、前週比1万3408枚拡大。

欧州中央銀行(ECB)は8日の理事会で現行政策を据え置いたが、ドラギ総裁が理事会後の会見で、域内の景気加速を認識しつつもインフレは引き続き抑えられていると指摘したほか、足元の通商関係に懸念を示したことで、ユーロ売り圧力が強まった。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
11/14	113.37	-135,999	1.1794	84,586
11/21	112.47	-122,602	1.1735	95,437
11/28	111.45	-110,640	1.1842	89,681
12/05	112.55	-114,267	1.1826	93,106
12/12	113.51	-114,123	1.1741	113,889
12/19	112.86	-114,373	1.1842	86,224
12/26	113.17	-116,086	1.1863	92,148
01/02	112.25	-121,766	1.2058	127,868
01/09	112.62	-125,536	1.1933	144,691
01/16	110.34	-119,350	1.2266	139,490
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
前週比	0.34	+7,306	-0.0014	+13,408



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。